

【抗議声明】

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する

2022年3月2日

沖縄県保険医協会

会長 高嶺朝広

2月24日ロシアは、世界中の市民の抗議にもかかわらず、ウクライナの東部地域にロシア軍を侵入させ、ウクライナ各地の軍事施設やキエフなどの都市への攻撃を開始した。これはウクライナへの明らかな侵略行為であり、武力の行使を禁ずる国際法を踏みにじるものである。いかなる理由であれ、一方的な軍事攻撃は国際社会の秩序の根幹を揺るがし、到底容認できるものではない。私たちは、ロシアによるウクライナ侵攻に対し、強く抗議する。

同時にプーチン大統領は、2月19日に直接指揮した軍事演習において、核弾頭搭載可能な大陸間弾道ミサイルや極超音速ミサイルを発射し、2月24日ウクライナへの軍事行動開始時のテレビ演説で「ソ連崩壊で多くのものを失ったが、現代のロシアは世界で最も強力な核保有国の一つ」、「我が国を攻撃すれば、壊滅し、悲惨な結果になることに疑いない」と発言したことは、核兵器による威嚇そのものである。さらに2月27日には、米欧の対応を理由に「核抑止力部隊」を厳戒態勢に移行させることを発言している。核兵器で他国を威嚇する発言は、人類にとって到底、看過できるものではない。こうした動きを許さないためにも全世界での核兵器禁止条約の署名、批准が求められている。

私たちは、生命と健康を守る医師・歯科医師の立場から、ロシアに対し、軍事行動の即刻停止とウクライナからの撤退を強く求めるものである。

以上